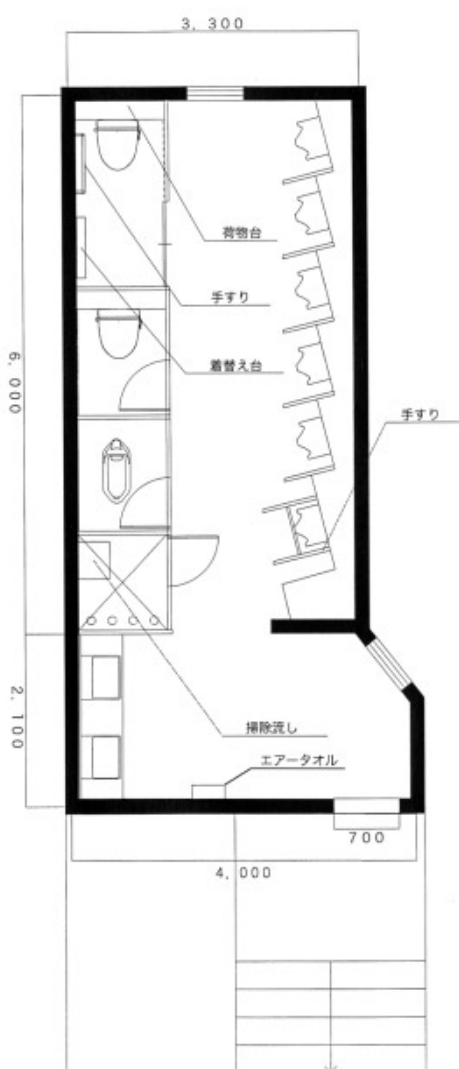


とより今回の調査は限られた範囲での検討でしかなく、リニューアル提案は工学部講義棟の一部を取り上げて行っただけに留まっています。今回の取り組みがきっかけとなり、今後も本学キャンパスのトイレ環境の整備がさらに進展することが期待されます。

男子トイレ(講義棟A棟)リニューアル案

<ポイント>

- ・小便器の個別性を高めるため、ついたてを設けた。また、荷物が置けるように荷物台を設けた。
- ・個室は便器の数を減らし、ブースを広めにとった。簡易型多機能便房を設置した。(着替え台、手すりの設置)
- ・照度を上げ、個別の照明を付けることとした。



GPA制度の導入と活用

本学では、平成15年度より全学部でGPA(Grade Point Average)制度を導入しました。この制度は、各科目の成績にGP(Grade Point)(優4点、良3点、可2点、準可1点、不可0点)を与え、その平均値GPAを出すことによって各学生が自分の成績を客観的に自己評価できるようにすることを目的として始められました。同時に、学生が履修できる単位数にも制限を設け、学生が講義に出席するだけでなく、予習・復習を中心とした自発的な勉強をするようになることを目指しています。

工学部においては、このGPA制度を有効に機能させるため、

- 1) GPA統計データの集約と公開
- 2) 教職員及び学生による成績情報の共有
- 3) 履修単位数上限緩和措置の円滑な運用

といった取り組みを開始しています。

GPA統計データが公開されることは、学生自身が自分の成績を客観的に評価するための基礎データとして必須です。教職員もデータを共有することにより効果的な指導が可能になります。さらに、GPAに基づいて成績優秀学生の履修単位数上限を緩和することによって意欲のある学生には早期卒業の道が開ける可能性もあります。

平成17年時点ではまだGPA導入以降に入学した学生は卒業していないのでその効果の検証は今後に待たなければなりません。目に見える成果が現れることを期待します。



リニューアル後のようす(小便器まわり)